

みずほCustomer Desk Report 2025/03/07 号(As of 2025/03/06)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	149.27
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	148.87	1.0794	160.78	1.2889	0.6337
SYD-NY High	149.31	1.0854	161.28	1.2924	0.6364
SYD-NY Low	147.31	1.0766	159.15	1.2866	0.6323
NY 5:00 PM	147.99	1.0786	159.49	1.2882	0.6332
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,579.08	▲ 427.51	日本2年債	0.8500%	0.0200%
NASDAQ	18,069.26	▲ 483.47	日本10年債	1.5100%	0.0700%
S&P	5,738.52	▲ 104.11	米国2年債	3.9642%	▲0.0416%
日経平均	37,704.93	286.69	米国5年債	4.0576%	▲0.0175%
TOPIX	2,751.41	33.20	米国10年債	4.2794%	▲0.0001%
シカゴ日経先物	36,910.00	▲ 790.00	独10年債	2.8845%	0.1015%
ロンドンFT	8,682.84	▲ 73.00	英10年債	4.6725%	0.0005%
DAX	23,419.48	338.45	豪10年債	4.4870%	0.1210%
ハンセン指数	24,369.71	775.50	USDJPY 1M Vol	11.90%	0.21%
上海総合	3,381.10	39.13	USDJPY 3M Vol	11.15%	0.28%
NY金	2,926.60	0.60	USDJPY 6M Vol	10.69%	0.22%
WTI	66.36	0.05	USDJPY 1M 25RR	▲1.82%	Yen Call Over
CRB指数	301.07	▲ 0.40	EURJPY 3M Vol	11.35%	▲0.03%
ドルインデックス	104.06	▲ 0.24	EURJPY 6M Vol	10.91%	▲0.08%

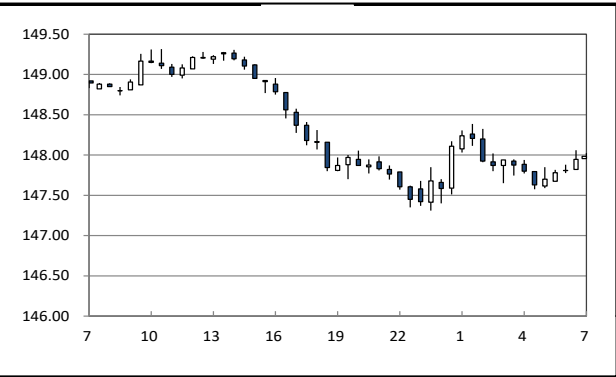
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月6日	09:30	豪 貿易収支	1月 56.2億豪ドル	59.00億豪ドル
	19:00	欧 ユーロ圏小売売上高(前月比/前年比)	1月 -0.3%/1.5%	0.1%/2%
	22:15	欧 ECB金融政策決定会合	3月 2.65%	2.65%
	22:30	米 貿易収支	1月 1314億ドル	1289億ドル
	22:30	米 新規失業保険申請件数	1-Mar 221k	233k
	22:45	欧 ラガルドECB総裁記者会見	データ次第で利下げ一時停止も	
3月7日	05:30	米 ウォラーFRB理事発言	年内に2、3回の利下げの可能性	

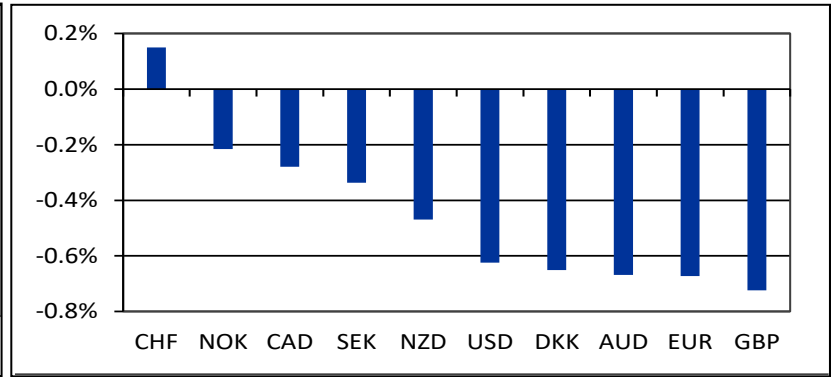
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月7日	16:00	独 製造業受注(前月比)	1月 -2.5%	6.9%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 160k	143k
	22:30	米 失業率	2月 4.0%	4.0%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.3%/4.1%	0.5%/4.1%
		中 輸出/輸入 年初来(前年比)	5.9%/1.0%	
3月8日	00:15	米 ボウマンFRB理事発言	—	
	00:45	米 グーグラーFRB理事発言	—	
	2:20	米 ウィリアムズFRB理事発言	—	
	2:30	米 パウエルFRB議長発言	—	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-148.50	1.0700-1.0850	158.50-160.50

【マーケット・インプレッション】

為替マーケットでも円金利の動向に注目が集まっている中、昨日は2025年春闘の賃上げ要求が平均6.09%と高水準となったことが日銀の利上げに追い風となるとの見方から、円高が進む格好となった。海外時間には米国の対カナダ・メキシコに対して発動した関税に関して、USMCAに準拠した製品について適用を延期すると伝わったものの、S&P500は1.8%下げるなどリスクセンチメントに改善は見られていない。日経平均先物も37,000円を割り込んでいる状況下、ドル円は下値を探る展開を想定している。またドイツの大規模な財政支出への警戒を背景に、ドイツ国債10年金利は2日で一時40bp程度急上昇するなど、債券市場は非常に不安定は状況となっており、欧州発でリスクオフが広がる可能性にも留意したい。

東京	東京時間のドル円は148.87レベルでスタート。仲値にかけて上昇するも、その後は失速し149円台前半でもみ合う展開に。その後、25年春闘の賃上げ要求が32年ぶりの高水準となったこと等もあり、円買い優勢の流れとなると、ドル円は午前の上昇分を帳消しにした。結局148.91レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ドル/円は2024年10月以来初めて148円を割り込んだ。ドル/円は148.91レベルで始まり、147.57の安値を付けた後、147.76レベルでニューヨークに渡った。10年物日本国債金利は1.5%と16年ぶりの高値を付け、連合の賃上げ発言も相まって円は上昇した。他の市場は午後のECB理事会を前に閑散としていた。EURUSDは高値で取引され続け、1.0811レベルで始まり、1.0780から1.0822の間で取引され、1.0800レベルでニューヨークに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台後半でスタート。本邦労働組合の連合が25年春闘の賃上げ要求が32年ぶりに6%を超えたとの発表を受け、日銀による早期利上げ観測が強まり、円買いが進み、147.61レベルでNYオープン。朝方に発表された米1月貿易収支が予想より悪化した事を受け、147.31まで値を下げる場面もあったが、その後米政権が対メキシコへの関税を巡り、USMCAの対象の製品に関しては4月2日まで免除するとの発表を受け、米株高の展開に伴った円売りから148.38まで戻す。午後は上昇していた米金利が上昇幅を縮小する動きが上値を抑え、147.60付近まで反落。その後は下げ渋り、147.99レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。ECB会合の結果発表を控える中、1.08台ちょうど付近を挟んだ様子見姿勢が続き、1.0800レベルでNYオープン。朝方はECBが市場の事前予想通り25bpsの利下げを決定し、主要政策金利を2.90%から2.65%に引き下げた。同時に発表された声明文では従来の「現状の政策金利は引き続き制約的」から「金融政策は実質的に制約的ではなくなりつつある」と変更された。その後に行われたラガルド総裁の記者会見では、関税等を巡る不確実性や、「データ次第で利下げをせず一時停止する可能性もある」との発言を受け、4月の利下げ観測が後退し、1.0854まで買われる。午後は買い一巡となり、1.0780付近まで反落し、1.0786レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。